

2019年度明の星学園事業計画策定指針(案)

学校法人 明の星学園
理事長 小野寺 和子

全般： 学園の2017年度～2019年度3カ年計画に基づく、第3(最終)年度に係る2019年度事業計画策定のための指針として示すものである。

<p>学園3カ年計画の実行指針 (事業計画策定のための指針)</p>	<ul style="list-style-type: none">① 建学の精神を堅持する。② 教職員の資質向上を図る。③ 教育環境を整える。④ 教育内容の充実を図る。⑤ 募集・広報・進路指導のきめ細かい施策を推進する。
<p>事業計画策定のための方針</p>	<ul style="list-style-type: none">① 事業計画全般においては、学園3カ年計画の実行指針に基づき、事業全体を見直し、その内容の充実と向上を図る。② 教育の分野においては、キリスト教の人間観による教育を徹底する。③ 募集の分野においては、情報の収集を積極的に行なう。④ 財務・管理においては、財務指標に基づき設定された目標に対する実績を分析検討の上で計画する。
<p>実施要領</p>	<ul style="list-style-type: none">① 12月の責任者会議において、指針及び方針の検討を行ない、その後に行なわれる理事会に図る。② 2月に開催される理事会に、各部門は新年度事業計画と行動計画を報告する。③ 5月に開催される理事会に、各部門ごとの前年度事業計画の実行結果を報告する。④ 前記報告に基づきその事業概要を財務概要と併せ「学園事業報告書」として完成させる。